

# 第9回つくし野自治会館建設委員会 議事録

日時 2018年11月9日(金)  
17:30~19:20

## 1 第8回委員会以降の経過について

10/17 1級建築士玉木氏宅訪問(鶴養委員長説明)

「それなりの70万は70万の家で、100万は100万の家である。これまでの設計でそれぞれのコンセプトがあるので高いとか安いは言えない。専門家として協力はできる」などの話を聞いた。

11/5 市民協同推進課訪問(鶴養委員長説明)

農事センター跡地へ防災倉庫を建てる件について、1.2丁目と2丁目自治会は住民説明会を受けてから検討と先送りされていることを報告。

## 2 各チーム検討(案)報告と検討

### (1)会館設計構想チーム(鈴木リーダー説明)

- ・市の建築審査課に確認。農事センター跡地は、第1種低層住宅専用地域で用途制限があるが、自治会館は例外である「公共施設、病院、学校等」の中の「図書館等」に当たるので建築は可能である。
- ・2階と平屋の平面図を参加者に配布してよいか。他の平面図は壁に貼っておくこととしたい。
- ・建設費の比較検討資料(6種類、4900~6500万円)を説明会に提出したい。

### (2)システム検討チーム

特になし

### (3)広報チーム(友井リーダー)

- ・提出した「Q&A」は各委員の意見を反映したもの→(一部修正あり)
- ・1.2丁目から出た「閉鎖になった場合に自治会の負担はどうか」の質問をQ&Aに入れるかは委員会に判断してもらいたい
- ・この閉鎖の質問に関連して、自治会と自治会館について、自治会の定例会はつくし野センターが無料なので会館は使わないというところもあり、また、委員会では自治会には人的、財政的に極力負担をかけないという方向で議論が進められている。一方、近隣の10の自治会館を見ると半数が黒字、半数が赤字で自治会が負担して運営を維持している。財政的に厳しいところも散見されるが、財政的なバランスをどう考えていくのか。自治会に、会館についての理解と協力を求め、利用率を高めることは重要だ。

意見・デメリット論を言わないで、閉鎖にならないように黒字化を目指して努力する。

- ・自治会が自治会館を必要としているから赤字でも自治会が支えている自治会と、黒字化を目指して努力している会館とはコンセプトが違う。
- ・最終的にこちらが運営できないのであれば市に寄付するという方向もある。
- ・赤字にならない議論をしてきた。芙蓉園、合掌園はこういう施設があったらいいと財政的な支援を含めて考えてもいいといっている。

### 3 自治会館建設についての説明会

- 11/25(日)10時～12時の準備
- 配布資料の最終確認  
「建設委員会の検討状況とこれからの計画」、「会館の必要性と目的」、「会館Q&A」、「建設費比較資料」「平屋建て、2階建ての平面図」、「近隣会館収支比較表」、「参考イメージ展示」
- 役割分担 集合 9時  
会場設営：全員  
受付：1・2丁目―橋本、 2丁目―加山 3丁目―樋口 4丁目―代谷  
司会：上野  
計画（案）説明者：鶴養、鈴木(説明時間は30分)  
記録・録音：原、岩淵  
一問一答でやる。資料印刷は11月10日14時からやり、その日に配布する。

#### その他

一部市議会議員から資料の要望があったが、ほかの議員にも統一的な資料としたい。メールで検討。

次回会合日程：12月14日(金)17時半～会場：つくし野センター 以上